第５２号
H３０・１１・１
文化部発行

広島市シニア大学院 OB 会ニュース

発行責任者
OB 会会長
加藤　睦治

米寿祝賀式

平成三十年度の米寿表彰式が九月五日（水）行われました。今年度は実に二六名の多くの方が米寿を迎えられました。当日、都合の悪い五名の方が欠席されましたが皆様方大変お元気で壇上を華やかに飾っておられました。

（写真）受彰者の皆さん

平成三〇年度受彰者のお名前

A班（二四名）

栗原　浩子　一班一二三期
熊本　喜美子　一班一二三期
脇坂　令子　一班一二四期
山下　博　一班一二六期
土井田　悦子　一班一二七期
島田　昭吾　一班一三四期
大橋　恵津子　二班一二三期
古谷　時子　二班一二六期
長尾　恵　二班一二六期
関本　周資　二班一二七期
河野　キヨ美　二班一二八期
篠森　弘　二班一二九期
増田　正子　三班一二五期
安藤　市人　三班一二八期
舩倉　和雄　三班一二八期
濵本　京子　三班二一期
小谷　佐智枝　三班二三期
亀田　幸三　四班一二三期
中川　志子　四班一二六期
東　幸雄　四班二一期
内海　義之　四班二一期
濱田　直也　四班二二期
岡崎　良子　四班二三期
津田　周三　四班三五期

B班（二名）

田中　近子　六班三六期
花尾　正登　七班四〇期

祝　辞

会長　加藤　睦治

本日は米寿を迎えられた皆さん、誠におめでとうございます。皆さんの少年・少女時代は戦争の真っ最中、終戦は昭和二十年のこと十五歳でした。戦後の経済大混乱時は、大切な青春の青年時代でした。その後、高度成長期を経て、バブルの崩壊などが起こり、大変な波瀾万丈の人生を歩んでこられたと思います。

やっと生活も安定した年月を過ごされ、旧広島市老人大学、現シニア大学院ＯＢ会におきましては、班活動・自治会活動・サークルなどで活躍し貢献していただきました。私たち後輩が今、楽しく過ごせるのも諸先輩のおかげでございます。今日の米寿祝賀式典に参加いただき大変うれしく思います。言葉は足りませんが、これからもどうぞお元気でお過ごしいただき、引き続きこのシニア大学院ＯＢ会に、ご指導ご鞭撻よろしくお願いを致しまして、７５０人の会員を代表し、お祝いのご挨拶といたします。

謝　辞

安藤　市人　三班二一八期

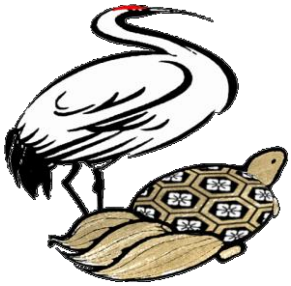
本日、ここに広島市シニア大学院ＯＢ会会員で本年度米寿を迎えます二六名に対する長寿表彰を賜りましたこと誠に有難く、受賞者を代表して厚く御礼を申し上げます。

私達は、昭和一桁世代半ばに生まれ、幼少期、少年少女時代を、いわゆる支那事変から大東亜戦争へと突入した戦時中の混迷と我慢の中で育ち、更には敗戦による戦後の困窮時代を乗り越え、そして復興、急速に伸展し目まぐるしく変化する時代に対処して参りました。そして現在の繁栄する世界屈指の日本を造り上げたのは、私たちの世代であると言っても過言ではないと自負しています。

そうして第二の人生を終え、高齢の域に差し掛かった頃、縁あって当時の広島市老人大学に入学することができ今日に至っております。その間、多くの皆様と交流しそして学び、サークルその他諸活動にも参加させて頂きましたことで、心身共に喜びと活力を得て生

きがいを感ずることが出来ました。更には、多くの友人を得ることができました。

今や、「人生百年時代」と言われ、超高齢化社会を迎えつつあります。私たちはこの米寿を一つの通過点として、これからの人生を会員のご支援とご厚誼を頂きながら卒寿、白寿の健康長寿を目指して一層精進してまいる所存であります。どうか、これからもより一層のご厚誼を賜りますようお願い申しますとともに、広島市シニア大学院ＯＢ会の益々のご発展を願って止みません。以上、甚だ措辞でございますが、お礼の言葉とさせていただきます。本日は誠に有難うございました。



広島県知事表彰

鯉城の会

（写真）表彰式会場にて）

鯉城の会　表彰

小松　清志　三班三五期文化部長の勧めにより一筆啓上。

広島県知事表彰は広島県の「あいサポート運動」を推進する「あいサポート団体」としての表彰です。あいサポート団体となった理由は鯉城の会が毎年開催している「障害者介助講習会」を中国新聞に大きく報道され、県の担当監が会に参加された結果サポート団体への加入を依頼されました。

表彰理由は①広島市外からの障害のある観光客の介助・観光案内、②障害者のスポーツ大会・イベントへの支援、③介助講習会の開催、の三点です

「介助講習会」とは平成二十四年度広島市社会福祉協議会が「近年、旅行や研修で広島市を訪れる障害者及び障害者団体から、介助ボランティアの要望・相談が増えてきています。この講座において、一時的に広島市を訪れる障害者に関われるボランティアを募集し、当事者に安心して広島市に滞在して戴くことのできる体制づくりを目的」として開催。

参加者に会の結成を依頼され、参加者二十七名中十三名が賛同し「ボランティア鯉城の会」を立ち上げました。会の運営は会費と「ひと・まち広島未来づくりファンド」から平成二十六年から三年間で三十七万六千円の助成金でまかないユニフォームや会の案内リーフレット（四十七都道府県・十三政令指定都市の社会福祉協議会に発送）の作成。この介助講習会は毎年三月に開催します。講師は視覚障害者及び車いすユーザーがボランティアで支援戴いています。

尚ボランティア鯉城の会は会員数二十九名中広島市シニア大学生一名、大学院生二名、ＯＢ会会員十五名が会員登録しています。モットーは「いつでも　どこでも　できる時に　できることを　できる人と一緒にやろう」の精神で活動。活動への参加は自由です。ぜひ「ボランティア鯉城の会」にご参加下さい。

私のボランティア活動

黒瀬　睦　八班四十期

グループ名　ボランティア健福⑰

＊活動内容

①老人施設等訪問

②平和祈年式典時、車いす介助ボランティア

③広島市あいあいスポーツフェスボランテェア

④発達障害者家族の集い保育ボランティア

⑤Ｍコンサートでの車いす介助等々

活動周期・参加人員

毎月・又は年間１回～１５回行う

活動場所

平和記念公園・東区Ｓセンター・西区地域福祉センター・広島国際会議場

・活動を実施する中で感じた事

平成２９年１２月３日（日）広島身心障害者福祉センター（東区光町主催）「２０１７文化祭」にボラン

ティアとして参加しました。十時に松井市長の挨拶で始まり、パフォーマンス広場では車いすダンスやオカリナ、フルート、ギターの演奏、そして銭太鼓、和太鼓の演奏など日頃練習されている成果がわかる素敵な演奏でした。

私は、クイズラリーで1階から3階までの5か所を回ってこられた先着６００名の方に景品を渡す役目でした。

この景品は各作業所で焼かれた様々な形のクッキーでした。好きなクッキーを選ぶのに迷う人で長い行列が出来るほどでした。

障害のある方や、その家族、介助者など多数参加され、一日を楽しまれたこと。私達ボランティアも一緒に行動し楽しむことが出来ました。

ただ残念だったのは、私は手話ができず、おっしゃりたいことを理解出来なかったことです。それでも触れ合うことはできたかなーと。

今日も気持ちのいい一日を過ごすことができました。

フォスタープラン

東　和子　五班四十期

このボランティア団体を御存知ですか？ユニセフと違うところは希望する発展途上国の子供の地域援助を含めて、直接その子が十八才になるまで援助をします。

手紙を書く習慣の無い子が拇印を押すことから始め、素敵な絵や自分の気持ちや将来の夢を書いて送って来る迄の過程は、自由で物が溢れ便利な生活に慣れた私達には色々考えさせられる事なのです。

私のボランティアグループが三十五年間に援助した十二か国、四十六名の子供達の中には突然土地を離れる子、ボランティア施設が襲撃され打ち切りになった子、先生になる為に上の学校に進んだ子等々、私は子供達を通して様々な世界を知り驚き、悩み、次の子を受け入れ、別れを繰り返して、それを折々に自分の子供達に語り聞かせて来ました。

経済的に豊かになった現代ですが、世界中自己中心で人々の心が荒廃して来たと思うことが多くなりました。

日本では東日本大震災後「絆」という素晴らしい繋がりが様々な所で浸透しつつあります。発展途上国の子供達との絆は草の根の様に広く深く根を広げてこそ確かな形として残ると感じます。優しい心を持った子供達を育む事が将来、平和の礎となると信じたいのですが・・・・・。

米寿を迎えて

山下　博　一班二六期

この度、八十八才を迎える事になり、皆様のご指導を戴き感謝に堪えません。シニア大学に入学し約二十年、この期間は私の人生にとって最も貴重な一時であります。勉学は勿論のこと先輩、同期、後輩の皆さんとの触れ合いが充実して最高の日々を過ごしています。本当に二十年のご指導有難うございます。私は最近記憶が悪くなりましたが、忘れられない出来事がありました。それは戦時中の事です。私が呉に住んでいたころ学徒動員で呉海軍工廠へ通っていました。当時、東洋一大きい第四ドック付近でグラマン機が近づいていましたので鉄板の下に身を伏せていた時、ドックの駆逐艦から「貴様危ないから防空壕へ入れ」と大声で叫ばれました。その時言われるまま全力で横穴の防空壕に飛び込んだのです。そこには既に沢山の人がいて奥には入れず入り口で伏せました。その直後爆弾が破裂、爆風が物凄い勢いで防空壕に入り中に居た全員が「お母さん、お母さん」と泣き叫び、私に抱きつきました。私は目を耳を塞いでいましたが、腕を引っ張られ爆風を直に受けたのです。暫らくして空襲が終わり周囲を見ると上下中学校の名札を付けた女学生でした。爆撃が済んで防空壕から出て見ると第４ドックの駆逐艦が横倒しになっていました。もう一件の記憶は呉阿賀の大入魚雷発射場での出来事です。毎日人間魚雷の訓練で若い兵士が魚雷に一人しか入れない中に入り、出向き潜った先約３００Ｍで浮上する訓練を繰り返していたのです。当時、私は無線通信士をしていたがアメリカの放送が頻繁にありました。「こちらはサイパン放送局です、日本は今１１時５０分です。１２時に日本は負けますので早く故郷へ帰りなさい」との放送でしたが、我々日本は絶対に負けないと思っていました。ところが８月６日、大爆発あり暫らくして爆風が来たので吉浦の弾薬庫が爆発したのかと思っていましたが上司から広島に特殊爆弾が投下されたと言われ、それが原子爆弾

だと知りました。以上が私の少年時代の出来事です。生死の境を繰り返し今日まで生きて来られた事に感謝で一杯です。これからも一生懸命頑張りますのでどうぞ宜しくご指導の程、お願いします。

ハーモニカサークルの ボランティア活動

栗原　寿男　五班三八期

会員数も増え、吹ける曲も多くなりました。大学祭や芸能祭以外にも演奏の場を求めて、ボランティア活動に出かけています。演奏はまだ未熟ですが、皆さんと合唱することにより場が盛り上がります。会場からエールやアンコールもいただきます。少しでも社会のお役にたち、私たちの生き甲斐づくりにもなっているボランティア活動を今後も続けていきたいと思っています。

【活動状況】

H29・・8・3　谷本クリニック「ミルキーケア」ディサービス／リズム体操、日本舞踊のグループの皆さんとコラボ。

H29・・9・8　仁保公民館、オレンジカフェ／演奏と合唱が一体となって、アンコールに「故郷」を演奏。

H29・12・13蓬莱園　特別養護老人ホーム／リズム体操サークルと共に出演。アンコールに「お正月」を演奏。

H30・6・8　仁保公民館、オレンジカフェ／昨年の演奏が好評でさいしゅつえん。それ行けカープの合唱で一気に盛り上がり、会場はマツダスタジアムに！

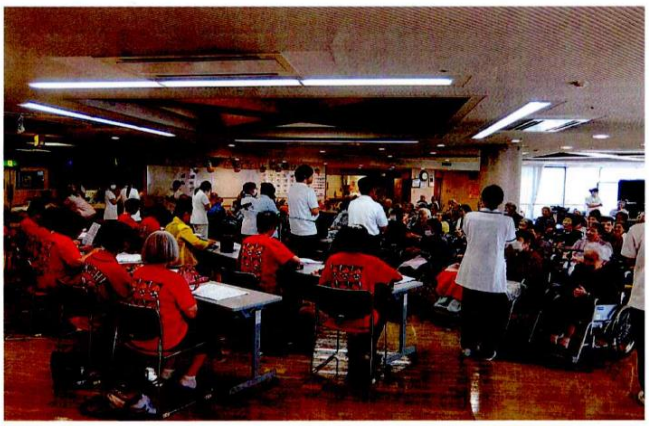
H30・9・7　介護付有料老人ホーム「あかしあ大河」／会場から大きなエールがあり、終了後施設の職員さんから、感謝の言葉を頂きました。

H30・9・19　段原地区いきいきサロン「陽だまり」／仁保公民館での活動を見られて、演奏の依頼がきました。

大正琴サークル

大橋美恵子　六班三七期

シニア大学大正琴サークル（大学、大学院、ＯＢ会）合同の年間行事のひとつとして、南区陽光台の「バラ苑」へ慰問に行き大正琴を演奏しました。懐かしのメロディーを聴き、笑顔になられた入所者の方々の姿に、私達の心も熱くなったように思います。職員の方たちも一緒に身体を動かし、頭の体操もし、本当に楽しい時間を過ごすことが出来ました。来年もまたお逢い出来る事を楽しみにしております



（写真）ボランティア会場風景

詩吟詠サークル活動の紹介

歳は重ねても益々元気で愉しく

ＯＢ会詩吟詠サークル代表

佐々木　浩二　一班三四期

このサークルは七年前に、ＯＢ会として独立した。毎年数名の会員が大学・院サークルから入会、現在三三名となった。年齢層は７０歳から９３歳までと幅広いが、元気で活力あるサークルになりつつあるようだ。主な取り組み状況を紹介したい。

＊サークルの運営は皆で背負っている。種々の役は交代制で担っている為会員相互にふれ合う機会が多く、絆づくりやサークルの活性化にも役立っているようだ。

＊健康吟詠をモットーに愉しく取り組んで、腹から大声で詠うことは健康の源。腹式呼吸のストレッチや発声練習と吟詠の習慣化、人前での独吟、大会出演など、各自目標を立て仲間と一緒に取り組んでいる。最近では、人前で全員独吟が出来るようになり、趣味の芸能発表会や外部吟詠大会への出演者も増え、お互いの励みになっている。

＊年間行事として、新会員歓迎会、芸

能反省会、新年研修発表会、花見会など交流の機会がある。先輩後輩の区別なく絆を深め合い風通しがよい。今年度の新会員歓迎会は滅多にない全員参加の懇親会となり、大いに盛り上がった。新会員の入会は新風を頂けるので有難い。終わりに、会員一同、健康吟詠や仲間との交流を可能な限り愉しみながら、いつまでも美声を保ち、老いに負けずに生き抜きたいと願っている。

（写真）詩吟詠サークルの皆さん

七班・班活動

坂口　和人　七班四十期

ＯＢ会七班は会長方針に従い以下の研修会を実施した。

平成三十年八月二十九日（水）班活動の第一弾となる「野外研修レク」を実施。

私達のホームグラウンドである社会福祉センター五ＦＡホールを研修会場として、元ＲＣＣアナウンサー《藤尾めぐみ》さんを講師に「美容院？病院？相手に届く話し方の基礎」というタイトルで、話し方の基礎の基礎となる研修会を実施。残暑厳しい中、四十名が参加した。「話をするには〔呼吸〕〔発生〕〔発音〕の三要素が大切であるということで、腹式呼吸の呼吸法の練習、腹筋を使い横隔膜を利用して四～五メートル先の相手が聞きやすい発声方法の会得、また発音練習として「あいうえお」の五つの母音を口の形に注力しつつ発声練習、一人一人が参加者全員の前で、早口言葉に似た短文の声だしに挑戦し、笑いの中で一時間三〇分の研修を無事終了した。

第二弾となる班活動は九月二五日に「大衆演劇鑑賞会」と銘打って老朽化などの為、平成三〇年九月末で三五年の歴史に幕を下ろした南区的場にある、広島最後の専門劇場「清水劇場」で実施。四十名が参加し、役者と観客が一体となった臨場感あふれる大衆演劇を楽しんだ。公演終了後は役者の皆さんと舞台上で記念撮影。思い出に残る研修となった。

五班　第一回班懇親会

五班　懇親会有志

８月８日（水）一回目の懇親会を福屋屋上ビアガーデンに於いて行いました。当日、三十八名と多くの方の参加を頂き大変盛り上がっておりました。七時過ぎには約半数の方が帰途につかれましたが、残った人達の輪が其々の所で和やかに歓談され時間を忘れるほどでした。

十一月八日（木）にはグランドゴル大会を太田川河川敷のコースで行う予定にしております。

（写真　ビアガーデンにて）

総務部ニュース

＊先頭ページの通り今年度は二六名という大変多くの方が米寿を迎えられました。

＊十月一七日（水）中間役員会が開催されました。各事業部長による後期事業予定の計画発表、予算等話し合われました。

＊七月末現在の会員数は七五二名（Ａ班四三〇名・Ｂ班三二二名）

＊班活動強化月間・各班においては実施計画と活動費の有効利用を促す。

＊平成三十一年度安全祈願祭・新年互礼会を平成三十一年一月五日に予定。

案内書は、十一月の各講座日に配布。

学習部ニュース

＊平和記念公園一斉清掃が八月一日（水）ＯＢ会参加者は七十一名（Ａ班二四名・Ｂ班四七名）シニア大学総計二三四名にて実施しました。

＊赤い羽根共同募金を来る十一月十六日（金）十二時～十三時まで、紙屋町そごう周辺にて行います。

＊「平和記念公園グリーンボランティア」シニア大学グループ主催にて十一月三十日（金）実施予定・広島平和都市祈念碑東側に集合。

＊平成三十一年度講座・講師の推奨募集十一月に協議し決定する。

＊前期講座出席率
Ａ班平均７２％・Ｂ班平均７７％
全体的に僅かですがＵＰしております。

芸能部ニュース

＊「第二十六回趣味の芸能発表会」出演申込四十三件延べ人員５００名の参加を頂きました。皆様方の御協力により盛大に無事終了することが出来ました。

＊芸能発表会の反省会、今後の課題点等の話し合いを十月十二日（金）に行いました。

文化部ニュース

＊ＯＢ会ニュース五十二号の原稿募集を行った。

＊米寿表彰者への原稿依頼、写真撮影依頼、芸能発表会写真、原稿等の依頼提供をお願い。

＊「きずなＯＢ」原稿募集開始
二十号記念とし特集記事テーマを「きずな」「絆」とし募集案内を全会員に配布した。

研修部ニュース

＊秋の日帰り旅行
十一月二十二日（木）実施。
行き先
西長門リゾート・角島・元乃隅神社
北長門

＊一泊研修旅行
予定日三十一年三月十四日～十五日

＊アンケート調査の実施。
十月全会員アンケートを配布する。
十一月に回収し検討を行い後日全員に通知し参加募集を行う。

俳句

子供達

二班三五期　石森　園枝

＊一時帰国　院生の孫　スイカかな
（日本から三名の院生・・一時帰国した孫はスイカを美味そうに）

＊ゆかた着てサンダルはゐて現代っ子
（ゆかたと云えばゲタ）

＊敬老会　子等に教える　フラダンス
（一年生から四年生の生徒が三世代祭りに出演）

平成参〇大流所感

七班三七期　高山　正明

＊激雨は街を流して瓦礫と成る

＊洪涛の惨禍転た情を痛ましむ

＊万霊を追悼して大地を治め

＊迅速に復興して安寧を甦へらすべし

原稿募集中

「きずなＯＢ」、ＯＢ会ニュース何れも随時募集しております。「きずなＯＢ」に付きましては既にお伝えしておりますように今回特集として「きずな」「絆」をテーマとして設けております。ＯＢ会員の皆様方には長い人生経験を積んで今日に至っておられます。その間の親、兄弟、親戚、友人等、多岐にわたり多くの人脈をお持ちの事と存じます。その一部のエピソード等を文章にお書き頂ければと思います。ＯＢ会ニュースにつきましては自治会長も進めております十月・十一月班活動強化月間の各班の懇親会、班活動の模様をＯＢ会ニュースへ投稿いただきますようお願いします。又、研修旅行での出来事などもお寄せください。

その他の短歌、俳句、随想等も通年募集しております。「ＯＢ会ニュース」「きずなＯＢ」何れに記載かをご記入お願いします。

趣味の芸能発表会

「第二十六回趣味の芸能発表会」

九月二十九日（土）広島市社会福祉センター５Ｆ大ホールにて大盛況でした。多くの来場者と共に日頃の練習成果を披露しました。極一部ですが、写真を披露します。

僅かな写真の掲載で本当に申し訳ありません。紙面の都合もありますが文化部としてのデーター収集のあり方にもあります。今後の課題として次回より一層の努力をして行きたいと思います。又、機会が有れば紙面への掲載も考えてまいります。

気候歳時記

十一月の気候

七日（水）（立冬）、この日より冬の始まりと言われております。

二十二日（木）小雪、小雪の舞う時期となってまいります。これを聞いただけでも寒さを気にするようになります。しかし、近年暖冬傾向にあり、十月においても三十度を超える日が多く有りました。暖かい日々が続くと過ごしやすいのですが・・

十二月の気候

七日（金）（大雪）、寒さも一段と厳しくなって参りますこの時期、山間部に於いては降雪の便りも出てくる頃と思います。

十二月二十二日（冬至）、真の冬を迎える頃です。「かぼちゃ」を食べ、柚子湯に浸り健康維持をはかりましょう。クリスマス、大晦日、そして元旦と家族の集い、お節料理、お酒、夜更かしと普段より多くの身体の負担も増えます。気をつけて、新年を、子どもさん、お孫さん、共々元気で迎えましょう。

訃報

平成３０年７月より１０月までに次の方々が逝去されました。

１班　２６期　　平田　数良　様

４班　２５期　　荒尾　成国　様

１班　２８期　　高木　為登　様

会員一同、謹んでお悔やみ申し上げます。

編集後記

今年の夏の暑さは近年希にみる猛暑が続き全国で熱中症患者が過去最多の様でした。又、雨不足により野菜不足にて価格が高騰し、家庭にも大きな負担となりました。そんな中、会員の皆様方は涼を求めて、各班、各サークルにて、屋上ビアガーデンの回数も多く行かれたことでしょう。ＯＢ会活動の大きなイベント、芸能発表会も盛大に行われ多くの観客を和まして頂きました。十月、十一月とＯＢ会、班別にてそれぞれにイベントを企画されている事でしょう。その模様等を是非とも投稿していただきたく、宜しくお願い致します。

文化部一同